

予算決算福祉文教小委員会審査報告書

令和3年9月17日

予算決算常任委員会委員長 渡邊 千賀雄 様

福祉文教小委員会委員長 伊藤 まゆみ

本小委員会に付託された事件についての審査内容及び経過、意見等を次のとおり報告します。

事件の番号	付託内容
議案第53号	令和2年度飯綱町一般会計歳入歳出決算中 民生費、衛生費、 <u>労働費</u> （シルバー人材センター運営事業）、 教育費及び関係歳入について

当小委員会では、上記付託議案について、説明員から詳細な説明を受けながら活発な質疑を行い、審査を行いました。

次に主な質疑、意見について報告します。

■ 住民環境課

【民生費】

質疑なし

【衛生費】

質疑①：河川水質検査について、課題に周辺家畜排水などの人為的な排水が依然として懸念されるとあるが三水地区のことか。

回答①：どこの地区ということではなく、水質検査の大腸菌群数の数字に基づいて注視する必要がある。

質疑②：水質検査の測定結果の大腸菌群数欄に 24,000 という数字がたくさんあるが、ここのどれかに家畜排水があるということか。

回答②：農業用肥料も河川へ流れ出ると大腸菌群数に反映されるので、家畜排水で汚染されているとは言い切れない。大腸菌群数が 1,000 を超えていると基準

を超えていることになるので、この数字を注視している。

質疑③：課題にある人為的な排水とは、どこのことを言っているのか。人為的な排水があった場合、監視するだけでなく、行政指導をしているのか。

回答③：令和2年度の実績はない。令和元年度にはあり、対象畜産農家へ指導を行ったということを聞いている。その後、それ以上の排出はなかった。

質疑④：人為的な排水等は解決するべきでは。

回答④：今年、家畜の尿を畑に入れている案件があり、対象農家へ指導を行った。対象農家から改善するとの回答があった。

質疑⑤：古紙類回収の逆有償について、「紙パックなどがやや高めに引き取られることなどがわかればきちんと分別して出すのに」という声が聞かれる。広報活動は行っているのか。

回答⑤：現在行っていない。

意見①：広報や出前講座などで是非周知してもらいたい。

質疑⑥：し尿処理方法について、今は信濃町へ持って行っているが、各市町村で対応する方針で決まったのか。

回答⑥：各町でできるかどうか検討している状況。信濃町と飯綱町の組合をどうやって解散させるかも今後の方針に関わってくる。

質疑⑦：町の水洗化率は90%強、そのうちの多くは公共に接続されているので、考え方としてその方式がよいのでは。公共へ流し込むにも数億円はかかるということ。住民のためになることを考えて決定してもらいたい。

回答⑦：100%下水なら必要ない。今後し尿は減るかもしれないが、浄化槽設置地域もあるため、なくなることはない。安全に処理するための方法を下水道係と一緒に考えている。5億円程度かかるのではないか。

質疑⑧：令和3年度予算で予算が2,300万円あるが、方法は決まったのか。

回答⑧：現在の施設を活用して処理をするのが一番効率的ではないかと考えている。今年、下水道の事業計画変更と合わせて検討する方向でいる。担当としてはクリーン飯綱の施設にまだ余力があるとみて、そちらで行う方式の基本設計で入札を行っている。また議会へ報告する。

質疑⑨：太陽光発電施設は、町の開発行為条例に基づいて許可されている。最近の災害は山を削ったりした結果起きており、町の中でも地盤を固めてあるだけでむき出しのままの施設が見受けられる。町は設置される際にきちんと確認しているのか。

回答⑨：地元の意見も参考に許可をしている。また、環境上、適していない場合などがあれば、その都度業者に指摘し、指導している。また、町の条例には罰則規定がなく、踏み込んだ指導等ができない状況である。国や県で規制を強めてもらうことで、それに準じてやっていける。業者の営業活動を否定することまではできない。

意見②：財産権の侵害まではいかなくても、行政ができる範囲で業者を指導するなど、やれることはやってもらいたい。住民が町に期待をしていることをよく考えてもらいたい。監視しているなどだけではなく、結果どうなったか

など、町が対応している状況を行政報告にも反映してもらいたい。

質疑⑩：関係組合等の負担金が莫大な数字である。適正な金額かどうかよくチェックしてもらいたい。

回答⑩：北信保健衛生、長野広域、北部衛生組合などの負担金については、きちんと精査された数字と認識している。

質疑⑪：景観条例について、他市町村では、太陽光設備の周りに木を植えてもらうものなどがある。当町も環境に配慮して設置をするよう、是非要請してもらいたい。

回答⑪：他の市町村では、太陽光発電は景観に配慮するような規定を盛り込んでいくところもある。町の美しい自然環境を守っていくためにも、どんな形で進めるか、十分検討を行っている状況。

質疑⑫：飯綱町は長野市より厳しく 10kW 以上（長野市 20kW）の設備で許可申請が必要ということは、町がきちんと指導してくれるはずと住民は考える。しっかりやってもらいたい。

回答⑫：太陽光設備に対して専門的に対応できる職員がいない状況である。関係機関と連携して対応するなど、今後もう少し踏み込んだ対応ができるようにしていきたい。

■保健福祉課

【民生費】

質疑①：障害者総合支援給付事業費が 2,700 万円も余っているのはなぜか。

回答①：コロナ感染を防ぐため、家庭内にいる方が多く、サービスを利用する回数が減少したためと考えられる。

質疑②：人口透析患者通院費補助金について、現在の患者数は何名か。

回答②：26 名。

質疑③：利用決定者数が前年の 7 名から 4 名に減った理由は何か。

回答③：亡くなられたり、転院されている。

質疑④：信濃町は一回 500 円通院補助しているが当町は。

回答④：交通費の 2 分の 1 を補助している。

意見①：信濃町のように飯綱町も検討してほしい。

質疑⑤：災害時要支援者情報データ修正業務の委託料について、更新作業だったようだが、何年毎に更新されるのか。

回答⑤：何年毎という決めはなく、古いデータが蓄積され、見直しが必要だったために更新した。

質疑⑥：委託費としては高額であり、計画無しにその都度更新せず、計画性をもって委託すべき。

回答⑥：事業内容を精査し、検討する。

意見②：委託しなければならぬ業務なのか見直しをしてほしい。

- 質疑⑦：生活管理指導短期宿泊事業について、保護が必要という情報はどのように発覚し、なぜ保護するに至ったのか。
- 回答⑦：包括支援センターには高齢者に限らず、障害者等の虐待情報も多く入る。今回の事案は緊急性があり、最悪の事態を避けるため、保護するに至った。
- 質疑⑧：地域福祉推進事業の中の施設整備について、社会福祉協議会の設備等修繕ばかりがかさんでいるが、デイサービスセンターの大規模改修の想定はしているか。
- 回答⑧：社会福祉協議会からは改修についての要望はされていないが、過疎計画に施設整備を盛り込んでおり、建て直しがよいのか、改修により施設の長寿命化を図る方がよいのか、今後慎重に対応したい。
- 質疑⑨：老人クラブ活動助成事業について、会員は600人前後で多いように思われるが、対象者は何人か。対象者数から見ればかなり少ないはずである。またクラブに加入しない要因はわかっているのか。わかっている場合、何か対策をしているのか。可能な限り、増える方向の策を期待したい。
- 回答⑨：対象者は5,000人前後である。町として加入推進はしていないが、役員の仕事が敬遠されがちであるようだ。現在、事務局をしている社協にも確認し、加入の推進、活動の活性化となれる要因を探っていきたい。

【衛生費】

- 質疑①：未熟児養育医療給付事業費の国庫負担金額は何を示しているか。
- 回答①：総事業費に対する国庫負担分。
- 質疑②：感染症予防費のうち、委託料の執行率が少ないのはなぜか。
- 回答②：主な要因は、風しん追加対策での受診が少ないこと。
- 意見①：予防接種状況の表から実際に実施した件数が読み取れないため、記載方法を検討してほしい。
- 質疑③：高齢者インフルエンザ定期予防接種事業では、対象者が65歳以上とあるが、65歳以上と定める根拠は何か。
- 回答③：予防接種法に基づいて65歳以上と定めている。なかには、独自の条例を制定して、事業を行っている市町村もある。
- 質疑④：令和2年度の健康増進費の執行率は何%か。
- 回答④：68.7%。
- 質疑⑤：精神保健普及事業「こころの体温計運用事業」のアクセス数が例年よりも減少している理由は。
- 回答⑤：例年は町の各種行事を通じて周知活動を行っている。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、行事の中止が相次ぎ、周知ができなかったため、アクセス数が減少したと思われる。また、ホームページでも掲載をしているが、なかなかアクセスにつながらないのが実態である。そのため、最近では、令和3年9月号のいづな通信に記事を掲載した。
- 質疑⑥：検診事業について、がん検診受診者数の表中にある肺がん検診の胸部CT検査の受診者数に対し、精密検査の受診状況の表中にある精密検査対象者

数が多いように思うが、何か理由は。

回答⑥：胸部CT検査の精度が胸部レントゲン検査よりも高いため、精密検査の対象者となる方が多くなる。

質疑⑦：受診勧奨をしても精密検査を受けない方に対して、通知を送る以外の働きかけはあるか。

回答⑦：町の保健師による電話や訪問を通じて働きかけをしている。

質疑⑧：自殺対策緊急強化事業において、町ではどういう対策をしているか。

回答⑧：ゲートキーパー養成講座の開講及び広報紙等での周知並びにこころの健康相談を受診しやすい夕方の時間帯に行くなどで対応をしている。

質疑⑨：保健補導員会事業について、3月に開催された「認知症サポーター養成講座」は、補導員会を通じて開講するのは初めてだと思うが、どういう意図で開講したのか。将来性についてどう考えるか。

回答⑨：養成講座は、包括支援センターが主となって行った。過去にも補導員会内でこの講座を開いたことがあり、令和2年度は任期1年目の補導員が多かったため行った。認知症のサポートに関しては、より多くの方々に周知する必要があるので、今後も包括支援センターと連携し継続していきたいと考える。

【労働費（シルバー人材センター運営事業）】

質疑なし

■教育委員会

【民生費】

□児童福祉費、保育園費、子育て支援センター費等

質疑①：大学連携プロジェクトで例年平均15人の参加者がいるが、参加者が少ないのはコロナの影響なのか。講師先生の内容の変化が要因なのか。

回答①：コロナの関係で回数が減っている。また、開催時期を工夫して開催したが、コロナ感染に気を付けていた方もいたためと思われる。

質疑②：二拠点移住コミュニティプロジェクトは2年目だが、これからも続けていくのか。地域間交流は流山市で良かったのか。流山市の参加家族数は。同じコーディネーターでよいのか。

回答②：流山市の中でも毎年違う団体と交流している。今後は都市圏との交流を検討している。また、コーディネーターについても検討していく。家族数は、オンラインで代表者の方と行っているため分からない。

質疑③：児童クラブの日の平均の利用者数で、かなり児童の多いクラブがあるが、多いことで事故など発生しているか。飯綱町ではおやつが出ないと聞いた。近隣市町村ではおやつ代をもらい出しているところもある。夕方6時以降利用している児童は何人か。おやつは嗜好品との分かれ目に悩むので、リ

ストップしてはどうか。

回答③：事故については、怪我など年2～3件ある。夕方6時以降の日平均利用者は、牟礼東児童クラブ3人、牟礼西児童クラブ1人、福井団地児童クラブ4人、三水児童クラブ4人、赤東児童クラブ1人。おやつについては、学校休業中は家庭で必要に応じて嗜好品（飴やチョコ等）以外のものを持たせてもらっている。おやつに迷ったら、迷うようなものをやめ、確実なものを持たせてもらうようお願いしている。

質疑④：児童クラブの指導員数について、男女比率、年齢、指導員の基準があるか。

回答④：指導員の基準については、保育園・学校の先生をしていた方はその経験を踏まえ指導員の資格を比較的簡単に取ることができることになっているが、経験のない指導員の方にも講習を受けて資格を取ってもらっている。有資格指導員は、牟礼東児童クラブ3人、牟礼西児童クラブ1人、福井団地児童クラブ3人、三水児童クラブ5人、赤東児童クラブ1人。有資格の指導員を常に児童の数に対し適正に配置している。また、補助に入る方にも発達支援の研修等を受けていただいている。男女比率については、指導員と代替全体で30人程のうち男性が3人。年齢は40代後半から70歳まで。65歳を過ぎると代替になる。

【教育費】

□教育総務費、小学校管理費、中学校管理費等

質疑①：小学校・中学校に整備したタブレット端末について、今回は国庫補助が多くついたが、今後の見通しは。

回答①：タブレット端末は3～4年程度で更新することになると思うが、その時に国庫補助があるか、今のところ分からない。更新の際、保護者負担や町負担にならないよう、国や県へ要望していく。

質疑②：通学対策について、安心の家の記載がないが見直しをしたのか。

回答②：安心の家について、これまでは青少年健全育成や学校との関係もあり報告していたが、長野中央警察署の管轄であり直接事務は行っていないため省略した。

質疑③：地域の子どもたちの安全対策については、登下校時、見守り隊で行うのか。

回答③：見守り隊の募集も積極的に行い、協力してもらっていく。

質疑④：ことばの教室で昨年度は飯綱町の児童が多いが、たまたま増えたのか。または取組や声かけが変わったのか。

回答④：特別声を掛けたわけではなく、たまたま多くなった。ただ、5歳児相談の際、言葉の心配がある保護者に保育園側から声かけはしている。

質疑⑤：学級編成について、今は2校1学年で4クラスあるが、ここ5年の出生数は50人程で、このまま推移すれば5～10年後には今のクラス数は維持できない。1校に統合又は小中一貫校にするか、教育委員会で議論はしているか。2校に統合する際、1学年は2クラスが一番良いと説明を受けた。これからの人口推計を見ると減少傾向なので、5～10年かけて内部で検

話し始めてもよいのではないか。

回答⑤：出生数は減ってきているが、今は小学校入学までに転入者もあり2クラスを維持している。町では、子育て支援に力を入れており、昨年はある雑誌の子育て世帯が暮らしたい町ベスト10にも入っている。人口増対策を進めているところなので、その状況を伺っている。2校へ統合するときは8年かけて決めたので、10年先を見据えて、内部検討を考えていきたい。

意見①：飯綱町は子育て世帯が住みたくなる町ランキングで9位になっている。ここ5年間で転出は超過だが、10代以下や30代は大幅な転入超過になっており、転校生も増えているのではないかと思われる。飯綱町で子どもを育ててみようと思っている人が増えているので、もっと町でやっていることを町内や町外へ知らせていくことが大切だと思う。

□社会教育費、公民館費、生涯学習費、施設管理費、文化財費等

質疑①：歴史ふれあい館協議会の会議で、3年前からリニューアル協議を行っているが、回数が3回と遅れているのではないか。リニューアルについてどこまで進んでいるか。

回答①：リニューアルは施設を改修するなどといった大規模なものではない。毎年、企画展や特別展を開催しているが、その内容をそのまま展示物として残していけるよう工夫しながら、5年後の合併20周年を目標として、少しずつ進めていくこととしている。今は、合併前の牟礼村の施設のままで、旧三水村の展示がない。例えば、三水用水の企画展を開催し、その内容をそのまま常設展示物として残していくことを考えている。

質疑②：用水の関係は産業観光課でも進めているので、歴ふれとタイアップして作ってはどうか。

回答②：用水に詳しい方に協議会委員になっていただき事業計画を立てている。今後は、企画展とも連携しながらやっていく。

質疑③：ビデオ編集委員の活動日数はどれくらいか。人材確保が厳しい状況だが、撮影と編集の分業化はできるか。編集はワークセンターへ委託可能か。

回答③：撮影は多い年で年間20日前後。都合のつかない方は3～4日。編集は一年間撮りためた映像を編集するため、3か月くらいかかる。これに携わっているのは常時3～4人。委託については、編集機器の老朽化もあり、機器を新調するか委託にするか検討しているところ。

□学校給食共同調理場費

質 疑：地産地消推進事業の米の助成について、キロ単価何%か。

回 答：およそ30%。

令和2年度飯綱町一般会計歳入歳出決算のうち、当小委員会で審査した内容は以上のとおりです。これらの決算認定について、反対の意見はありませんでした。